



外国出張報告書

平成 28 年 1 月 6 日

1. 出張国名 ベトナム
2. 出張月 平成 27 年 12 月
3. 出張目的 次期中期計画に予定されている気候変動対応プロ（A1）の今後の検討のための現地調査及び JIRCAS・カントー大学 気候変動対応ワークショップ 2015 参加：A
4. 成果の概要
 - 1) ワークショップ
 - ・ Agenda（議事次第）に則してワークショップが実施された。出張者は、**Session5: Toward the next 5 years 5-1 JIRCAS's new mid-term plan** のセッションにてプレゼンテーションを行った。その中で JIRCAS と農林水産技術会議並びに農水本省との関係、JIRCAS のビジョンとミッション、現在検討中の次期 A1 プログラムの枠組みを説明した。
 - ・ 出張者の発表のみならず、その他の JIRCAS 並びに日本側の研究者の発表についても、カントー大学側研究者から、次期中期計画の参考となる多くの提案がなされた。この点からも、カントー大学側の現行プログラムに対する満足とともに、次期中期計画における共同調査の実施に対する強い期待が感じられた。
 - 2) 現地調査
 - ・ カントー市北部の農家水田では、節水灌漑も含めた温室効果ガス排出測定を継続して行っている現場状況を確認した。
 - ・ その他、牛の呼気からの排出ガス測定装置、バイオガス・ダイジェスターの設置状況等を現地にて確認した。
 - ・ いずれの試験地・研究施設においても、データの安定的な取得が可能となるまでの、実験施設への施設整備並びにカントー大学関係者や関係農家などとの良好な関係構築には相当の時間が投入されてきたことが推察された。
 - ・ このことから、次期中長期計画においては、次期中長期計画における新プログラムの円滑かつ迅速な立ち上がりのためには、極力これまで構築してきたカントー大学関係者・関係農家との関係を極力継続していくことが得策であるとの所感をえた。